

令和8年1月23日(金)

祝 匝瑳市誕生20周年

匝瑳市は、2006年（平成18年）1月23日に八日市場市と野栄町が合併して誕生し、20周年を迎えました。



20周年記念スペシャル給食「大匝瑳膳」

あずきご飯【匝瑳の舞】、お祝い大福、ぎせい豆腐おろしあんかけ、お芋と生揚げの味噌煮、市内産お麩のけんちん汁

この機会に匝瑳の語源について（諸説ありますが...）

匝瑳という地名の由来は、平安時代前期の歴史書『続日本後紀』^{しよくにほんこうき}によれば、5世紀の終わり頃から6世紀のはじめにかけて、畿内（現在の近畿地方）の豪族であった物部小事^{もののべおこと}という人物が、坂東（現在の関東地方）を征した勲功によって、朝廷から下総国の一部を与えられ、匝瑳郡^{さふさごおり}とし、小事の子孫が物部匝瑳氏^{もののべそうさ}を名乗ったと伝えられています。匝瑳の語源については、諸説あって定まっていますが、発音での「さふさ」という地名があり、「さ」は「狭」で美しい、「ふさ」は「布佐」で麻の意で、“美しい麻のとれる土地”であったとする説や、「さ」は接頭語で、「ふさ」は下総国11郡中で最大の郡であったことに由来するという説があります。

匝瑳は、「さふさ」に縁起のよい漢字を充てたものと考えられています。なお、漢和辞典によれば、漢字の「匝」は、訓読みで“めぐる”と読み、一巡りして帰るという意味があり、「瑳」は、訓読みで“あざやか”あるいは“みがく”と読み、あざやかで美しいという意味があります。